

境川木曾東調節池工事 その2

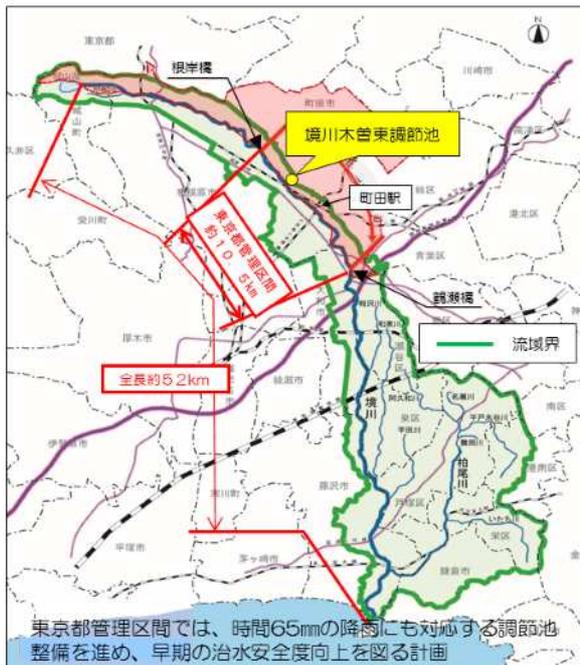
工事説明資料

境川木曾東調節池工事その2の工事内容について、次ページよりスライドと文章により説明いたします。

1 何を作るのか

工事概要

1



【概要】

- ・貯留量：約4.9万 m^3 （25mプールで約164杯分）
- ・形式：地下箱式
- ・施工規模：延長約115m、幅約60m、深さ約22m
- ・管理棟：地上2階（高さ＝約8.5m）
- ・付属施設：排水ポンプ、換気設備 他

境川は、延長約 52 k mの二級河川です。このうち東京都が管理する区間は、鶴瀬橋上流～根岸橋までの約10.5kmです。

東京都管理区間では、下流の神奈川県区間の改修状況を踏まえ、河道整備に先行して1時間あたり概ね65mmの降雨にも対応する調節池を整備し、早期の治水安全度向上を図る計画です。

本工事で建設する境川木曾東調節池の貯留量は約4.9万 m^3 です。形式は地下箱式です。施工規模は、延長約115m、幅約60m、深さ約22mになります。別途工事において、地上2階建ての管理棟や、付属施設である排水ポンプ、換気設備等の設置を行う予定です。

1 何を作るのか

調節池完成イメージ

2



こちらが、調節池の完成イメージ図になります。調節池上部の利用形態については、今後町田市にて検討する予定です。

本調節池は、地下に洪水を貯める構造となっており、町田市境川クリーンセンターの敷地内に建設します。境川に面して、洪水を取水する越流堤と、貯めた水を河川に返す放流渠が構築されます。また、地上部には、別途工事において管理棟を建設する予定です。

2どのように作るのか 境川木曾東調節池事業スケジュール

3

工 程		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
調節池工事	準備工	■						
	仮設工		■	■	■	■	■	
	土工			■	■		■	
	躯体工				■	■	■	
越流堤・放流渠工事						■	■	■
管理棟工事等(別途工事)							■	■
施工ステップ		STEP1	STEP2	STEP3	STEP4	STEP5	STEP6	STEP7
							STEP8 (別途工事)	

工事の工程としては、この表のようになっています。

準備工から始めていき、仮設工、土工、調節池の躯体工、越流堤・放流渠工事と進めていきます。別途工事である管理棟工事等を含めて、工事期間は約7年を予定しております。

STEP.1 準備工

STEP.2 土留め工

STEP.3 仮設構台工

STEP.4 掘削～土留め支保工

STEP.5 床付け完了・基面整正工

STEP.6 調節池構築工

STEP.7 取水・放流施設工

約6年間

工事はこちらに示すように大きく分けて7つのSTEPにて進めていきます。STEP1から準備工、土留め工、仮設構台工、掘削土留め支保工、床付け完了・基面整正工、調節池構築工事、取水・放流施設工となります。次のページより、それぞれのステップの内容について説明いたします。

2どのように作るのか STEP.1 準備工

5

1.準備工

2.土留め工

3.仮設構台工

4.掘削・支保工

5.床付け完了・基面整正工

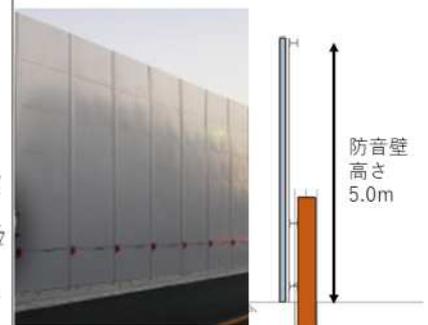
6.調節池構築工

7.取水・放流施設工

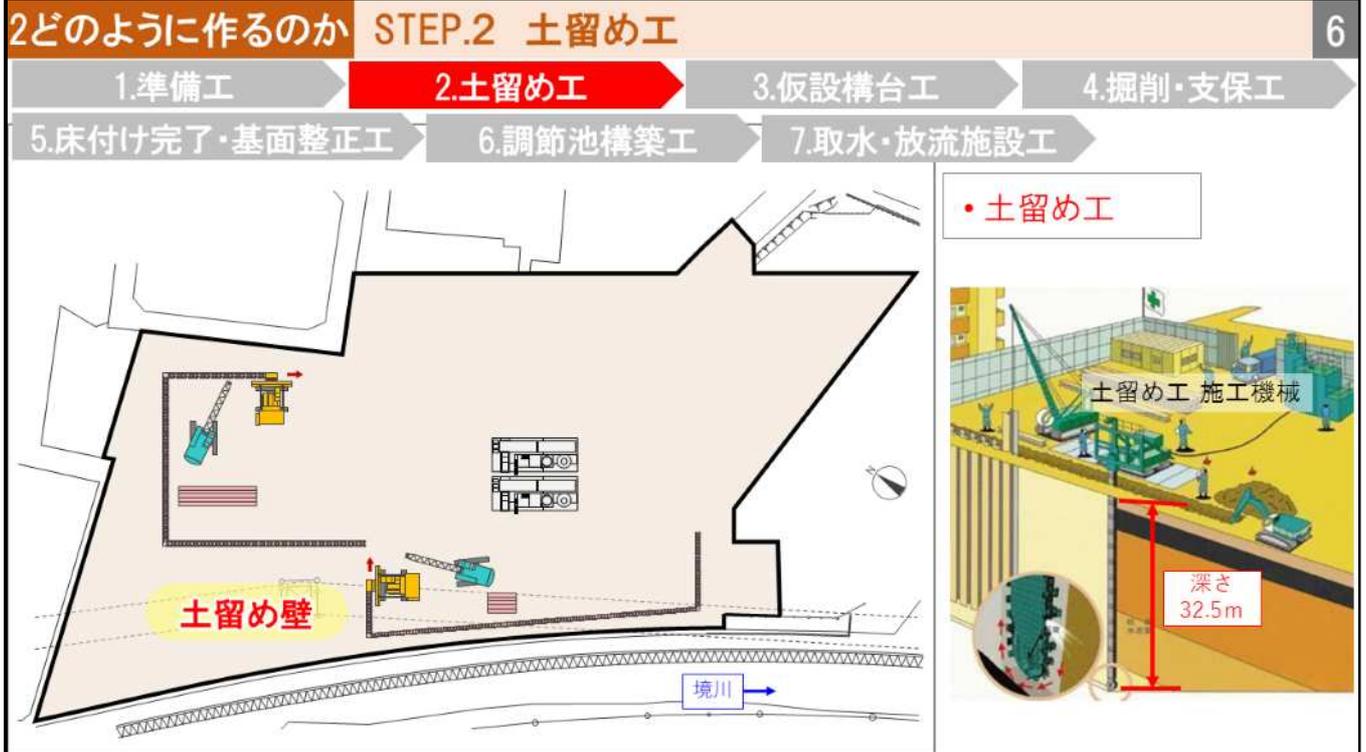


- ・家屋調査、井戸調査
- ・仮囲いの設置
- ・防音壁の設置
- ・水路の切り回し
- ・揚水・復水井戸設置

防音壁イメージ図



ステップ1の準備工では、家屋調査や井戸の調査を実施した後、近隣の皆様にご迷惑のかからないよう仮囲いや防音壁を設置します。防音壁は、北側と東側に設置し、高さは5.0mになります。また、移設が必要な水路を切り回します。その他に、工事の安全対策上、地下水位を調節する必要があるため、揚水井戸と復水井戸を設置します。揚水井戸により汲み上げた水は復水井戸により地盤内に戻します。



ステップ2では、土留め工を行います。

土留め工は、地下深く掘削しても土が崩れないように壁を作る作業です。安全に工事を進めるための、とても重要な作業になります。土留め壁は、セメントと土を混ぜ合わせて壁を作ります。土留め壁の深さは32.5mです。



ステップ3では、仮設構台工を行います。
 仮設構台は、地下で構築作業をする際に使用する地上スペースです。施工機械や車両の通路、資材の置き場として使用します。まず、仮設構台を支える杭を打ち、その後に鉄骨により構台を組んでいきます。

2どのように作るのか STEP.4掘削工～土留め支保工 STEP.5床付け完了・基面整正工 8



ステップ4・5では、掘削と土留め支保工、基面整正工を行います。

仮設構台の下の重機で、掘削し土砂を集めます。集められた土砂は、仮設構台の上から重機で引き上げ、ダンプトラックで運搬します。掘削の進捗に合わせて、突っ張り棒の役割をする土留め支保工や、土留めを支えるアンカーの設置を進めていきます。この作業を繰り返して所定の深さまで掘り下げていき、床付け完了となります。掘削深さは約22mです。床付け完了後、掘削した表面を平らにならす基面整正を行います。



ステップ6では、調節池の構築工事を行います。
構築工事は、鉄筋・型枠の組立、コンクリートの打設を行います。底から構築していき、最後に頂部を構築します。

2どのように作るのか STEP.7 取水・放流施設工

10

1.準備工

2.土留め工

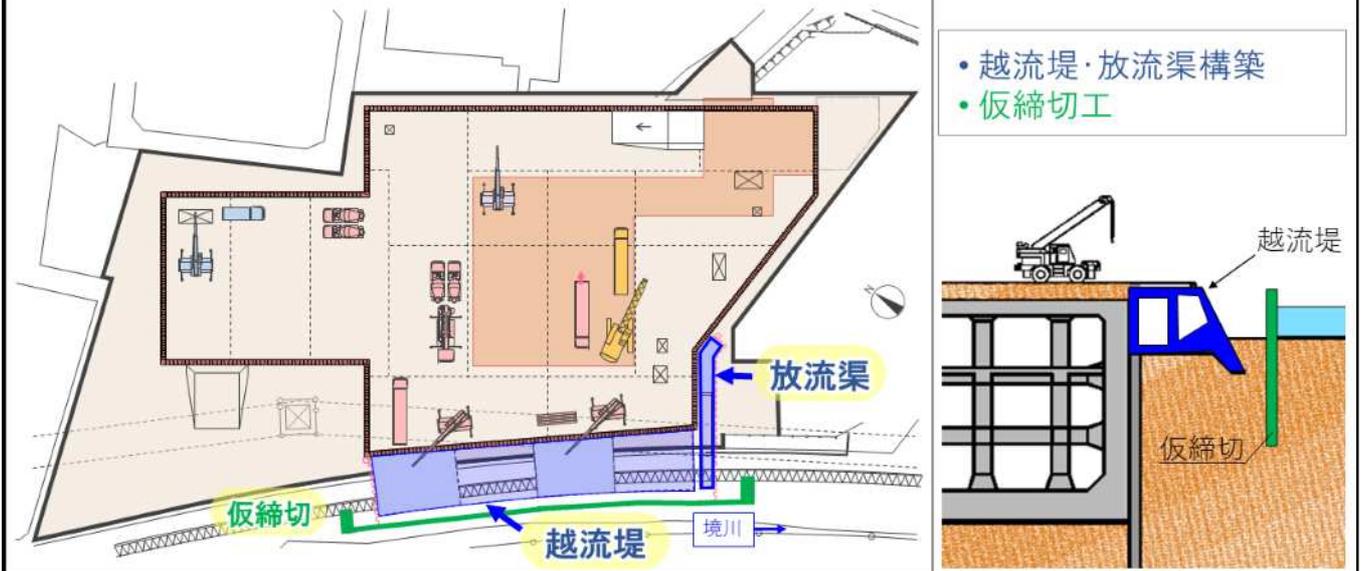
3.仮設構台工

4.掘削・支保工

5.床付け完了・基面整正工

6.調節池構築工

7.取水・放流施設工



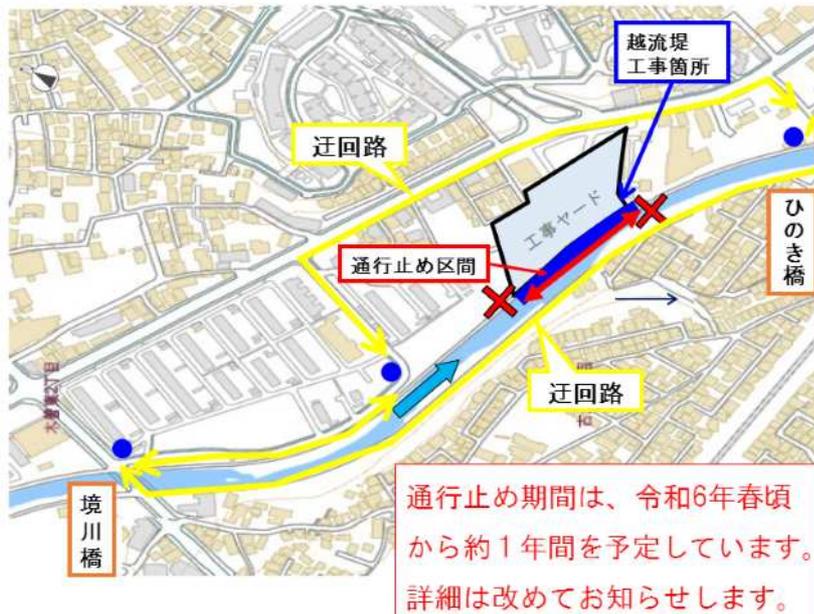
ステップ7では、越流堤と放流渠の構築を行います。

越流堤と放流渠の構築では、境川の中に鋼矢板を打ち込むことにより仮締切を作り、水のない状況で構築作業を進めていきます。

2どのように作るのか 川沿いの歩道 通行止めのお断り

11

越流堤施工時：川沿いの歩道(管理用通路)が一部通行止めとなります。



●印の箇所に
お知らせ看板を
設置いたします。



越流堤や放流渠は、調節池と河川をつなぐ施設です。施工に当たっては護岸を一部撤去する必要があるため、令和6年春頃から約1年程度の間、川沿いの歩道を境川橋からひのき橋の間で一部通行止めとさせていただきます。お知らせ看板を設置して事前にお知らせし、通行止め期間中にも迂回の案内板を設置いたします。皆様には大変ご不便をおかけしますが、迂回路の通行にご協力をお願いいたします。

作業時間

- ・作業時間は原則8:00～17:00としています

車両退場時間の制限

- ・法令で運行時間が制限されている一部の車両は、21:00～6:00の深夜・早朝に入場いたします。

工事の作業時間は、原則8:00から17:00としています。

法令で運行時間が制限されている一部の車両は、21:00から6:00の深夜・早朝に入場いたします。



ここからは安全対策についての説明です。

工事車両の出入り口は町田駅前通りに面した既存の出入り口を利用します。クリーンセンターやリサイクルショップと出入り口を共用しますので、工事車両の出入り口には、交通誘導員を配置して、歩行者・自転車等の安全を確保します。



交通誘導員の適正配置

既存出入口に誘導員を適正に配置し、歩行者・自転車の方の安全を確保します

誤進入・接触防止

ブザー付き回転灯により、工事車両が一般車両と接触する事故を防止します

出入口に交通誘導員を適正に配置し、歩行者、自転車の方の安全を確保するとともに、一般車両の入退場をブザー付き回転灯で工事車両に周知し、一般車両と工事車両の接触事故を防止します。

車両の運行調整

- ・工事車両の待機場所を現場内及び現場外に用意し、路上待機を防止します。
また、GPSにより工事車両の間隔を調整し、渋滞を抑制します。

ハザードマップ

- ・運行ルート上の規制速度、保育園・小学校やバス停、過去の事故発生箇所などの危険箇所について、ハザードマップを作成し、運転者に周知徹底します。

掘削した土の運搬車両による一般道への影響をできるだけ抑えるため、場内の車両待機場所に加え、工事箇所の周辺に場外待機場を確保し路上待機を防止します。また、工事車両に搭載したGPSにより、運転状況をリアルタイムで取得し、運行間隔を調整して車両集中を回避します。さらに、運行ルート上の規制速度、保育園・小学校やバス停、過去の事故発生箇所、カーブなどの危険箇所について、ハザードマップを作成し、運転者に周知徹底します。

防音壁・遮音シート



・住宅が隣接する場所には防音壁を設置し、既存仮囲いには遮音シートを設置することで、騒音を抑制いたします

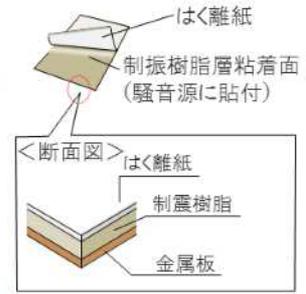
遮音材の設置

・北側の表層地盤の改良時、バックホウのエンジン部に遮音材を貼り付けて、騒音を抑制いたします

<設置状況>



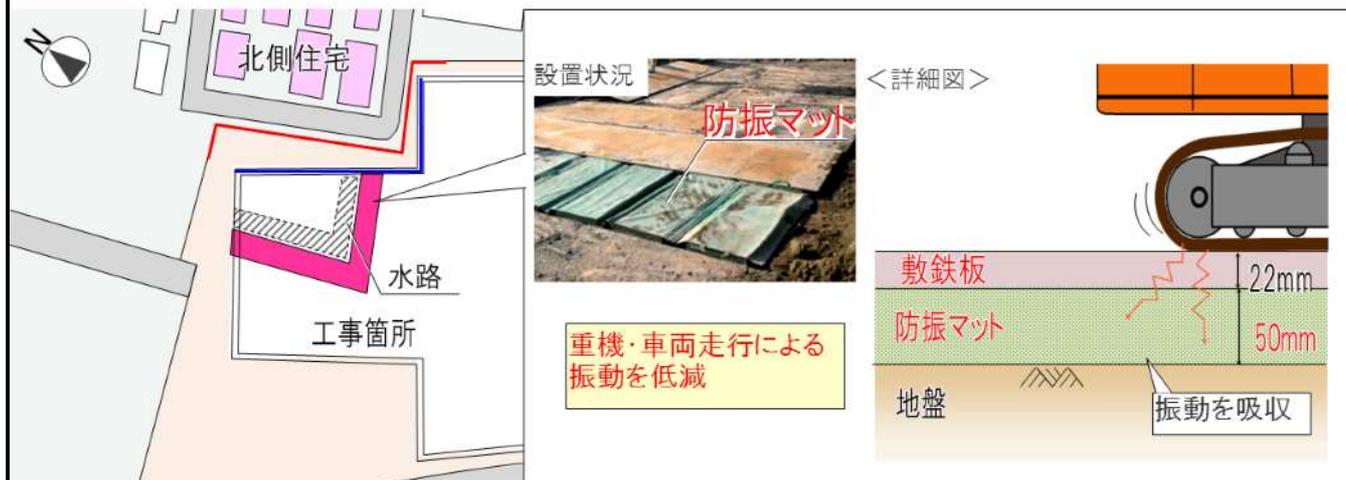
<構造概要>



重機のエンジン音を**低減**

騒音対策として、民家が近い北側と東側には防音壁を設置し、川沿いの仮囲いには遮音シートを設置することで騒音を抑制いたします。さらに、北側で表層地盤を改良する際には、バックホウのエンジン部に遮音材を貼り付けて、重機のエンジン音を低減いたします。

防振マット

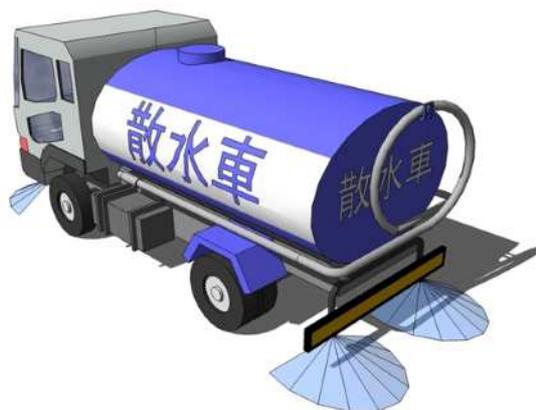


水路施工時、防振マットと敷鉄板を敷くことにより
振動の伝播を抑制いたします

振動対策として、水路施工時には、車両走行路に防振マット及び敷鉄板を敷くことにより、振動を抑制いたします。

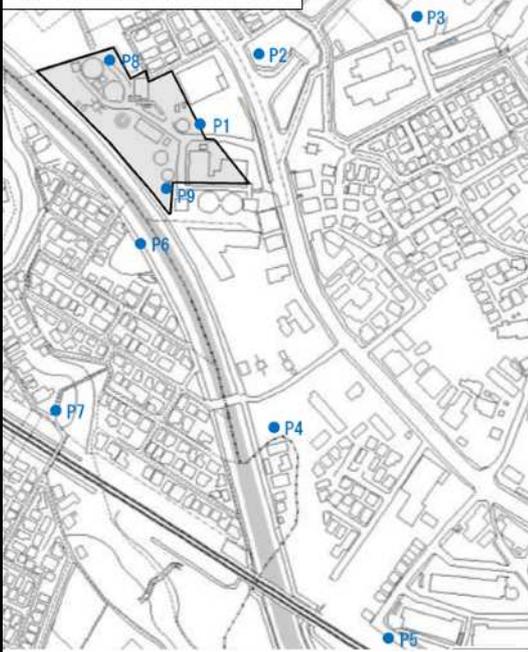
・ タイヤ洗浄装置の設置

・ 散水車による場内散水の実施



工事中の粉塵対策として、タイヤ洗浄装置の設置と散水車による場内散水を行うことで粉塵の発生を抑制します。

地下水調査 位置図



【地下水調査】

調節池工事に伴う、周囲の地下水の水位の変化を把握するための調査です。

工事前より計測をしており、工事中も継続して水位の把握をまいります。

地下水に工事の影響がないかを確認するために、地下水の水位について調査します。こちらの図は、地下水位を計測する9箇所の水位計の位置を示しています。工事前より地下水位を計測しており、工事中も継続して計測いたします。



【井戸調査】

調節池工事に伴う、周囲の井戸水質の変化を把握するための調査です。

- ・工事前に、宅内の井戸について事前調査を実施いたします
- ・また、工事後に、井戸水質の事後調査を実施します

後日、対象となるお宅に調査のお知らせを投函させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

こちらの図は、井戸の水質調査範囲を示しています。工事箇所から半径500mの範囲で実施します。対象となる井戸の水質調査を工事の前後に実施いたします。後日、対象となるお宅に調査のお知らせを投函させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

家屋調査位置図

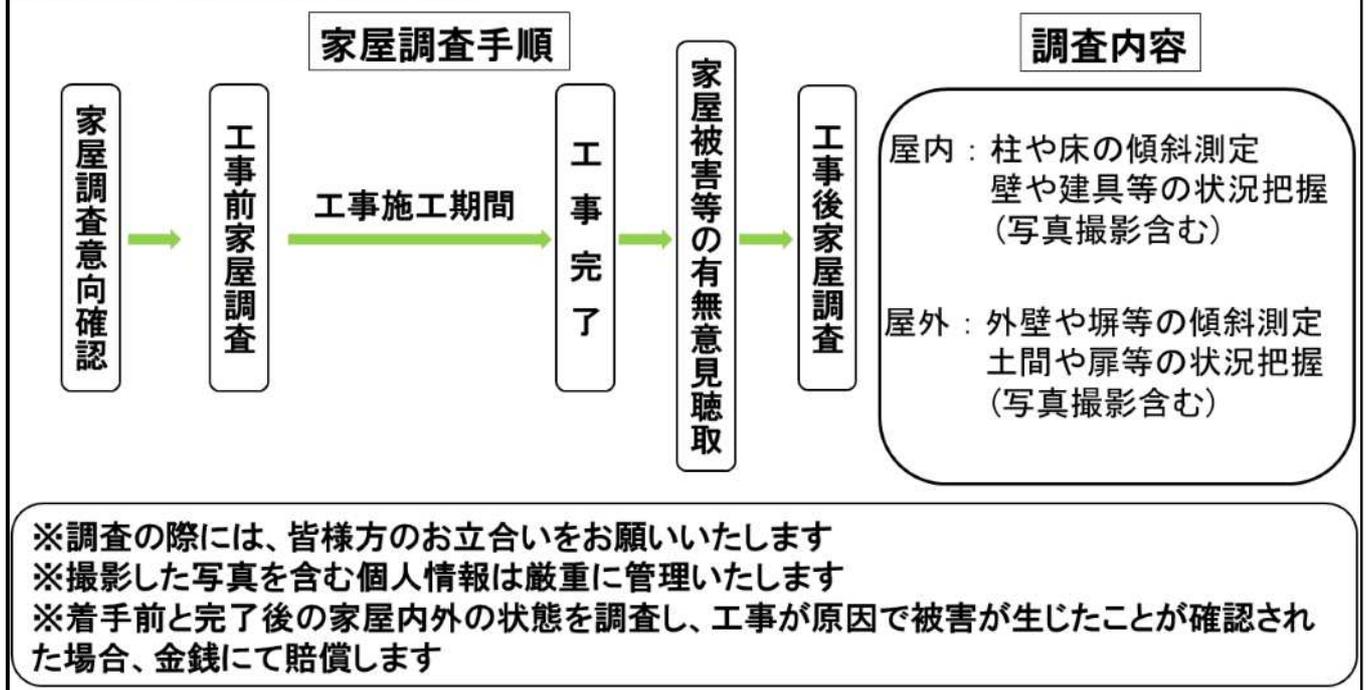


【家屋調査】

工事による家屋への影響の有無を正確に判断する資料を得るために、家屋の状況を把握するための調査です。

- ・家屋全般、建物内部・外部について、工事前後に調査いたします。
- ・調査範囲として、工事区域に沿って民地側30mの範囲(左図の緑の範囲)を設定し、赤色の家屋を調査対象としています。

家屋調査についての説明です。家屋調査とは、工事による家屋への影響の有無を正確に判断する資料を得るため、家屋の状況を把握するための調査です。家屋全般、建物内部・外部について、工事前後に調査します。こちらの図は、家屋調査の対象位置を示しています。工事区域に沿って民地側に30mの範囲について調査を行います。



家屋調査の手順の説明です。

まず、皆様に家屋調査の意向確認をさせていただき、同意された方に対して、工事前の家屋調査を行います。調査を辞退された場合は、家屋に損害が生じても工事による損害かどうかはわからなくなってしまい、補償ができなくなってしまいます。ぜひ、家屋調査に同意していただきたいと思います。

工事が終わりましたら、家屋被害等の有無意見聴取をし、工事後の家屋調査を行います。

調査の内容としましては、屋内では、柱や床の傾斜の測定、壁や建具の状況把握を行います。屋外では、壁や塀の傾斜測定、土間や扉等の状況把握をします。着手前と完了後の家屋内外の状態を調査し、工事が原因で被害が生じたことが確認された場合、金銭にて賠償します。

調査の際には写真撮影も行います。調査の際には、皆様方のお立合いをお願いいたします。

なお、撮影した写真を含む個人情報は厳重に管理いたします。また、リフォームなどを行う際には、事前にご連絡をいただきますようよろしくお願いいたします。工事にて、中間調査を実施いたします。

1 堀川木曾東調整池工事その2
(仮) **工事かわら版** No.1
今月 2年0月号

堀川木曾東調整池工事にご協力ありがとうございます

日頃より、ご理解・ご協力を賜りありがとうございます。
○月の工事予定や現在の進捗状況をお知らせいたしますので、
ご家族に代わりましたら幸いです。
東京都多摩東部建設事務所、大井組堀川木曾東調整池Ⅱ工事事務所

現在の進捗状況

全体の **15%** 完了しました

● 供付け済みまで開始完了しました
● 調整池の掘削工作は準備中です

工事概要・スケジュール

○月 工事スケジュール

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
調整工														
コンクリート打設工														
植工														

今月はたらく草 調整池の本体の構築がほぼ完了。今週からは年間のコンクリートの打設を完了します。作業中の騒音対策の一部をご報告いたします。

防音壁・遮音シート 調整池の周囲に防音壁を設置し、騒音を低減させます。また、調整池の周囲に遮音シートを設置し、騒音を低減させます。

遮音材の設置 調整池の周囲に遮音材を設置し、騒音を低減させます。また、調整池の周囲に遮音材を設置し、騒音を低減させます。

今後とも、騒音や振動の抑制に取り組みながら、安全な工事に努めてまいります。
ご迷惑をおかけいたしますが、何卒よろしくお願いいたします。

発行先： 東京都多摩東部建設事務所、大井組堀川木曾東調整池Ⅱ工事事務所
〒184-0022 東京都多摩市大井町1-1-1 TEL. 042-320-0900
〒184-0022 東京都多摩市大井町1-1-1 TEL. 042-320-0900

・受注者職員により、地域の皆様とのコミュニケーションを綿密に取らせていただきます

・地域の皆様にできるだけご迷惑をおかけしないように、工事箇所近隣住宅へ月1回のヒアリング調査を行います

・工事かわら版を月に一度配布し工事の状況をお伝えします

近隣の皆様に工事をご理解いただけるよう実施する取り組みについての説明です。受注者の職員により周辺住民とのコミュニケーションを綿密に取らせていただきます。工事箇所近隣の皆様へは、月に1回を基本としたヒアリング調査を行います。

また、月間工程や工事内容を記載した工事かわら版を月に一度配布し工事の状況をお伝えいたします。



本工事のホームページを作成しています。「境川 調節池 大林組」で検索することができます。工事工程表や工事進捗等を見ることができますのでご利用ください。

また、お問い合わせのページを作成しましたので、工事に関することで何かございましたら、こちらにお問い合わせいただきますようよろしくお願いいたします。お電話でも、ご質問に対して丁寧に対応させていただきます。

〈お問い合わせ先〉

○調節池の計画などに関すること

①東京都南多摩東部建設事務所工事課

・TEL：042-720-8676 ・FAX：042-720-6563

○調節池の工事に関すること

②株式会社大林組 工事事務所

・TEL：042-850-9835 ・FAX：042-850-9826



〈ホームページ〉

これまでの説明会資料や本説明資料は、
東京都南多摩東部建設事務所ホームページに掲載しています。

(URL： <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/nantou/kouji/kasen-seibi.html>)

工事に関する情報やお問い合わせフォームは、
株式会社大林組のホームページに掲載しています。

(URL： <http://www.kisohigashi-tyosetsu-con.com/>)

最後に本工事の工事事務所についての情報です。大林組事務所入り口に、ご意見箱を用意する予定です。場所は、町田市民病院の西側になります。